

学生時代から行う就労や自立についての取り組み(レジメ)

はじめに

特例子会社で障がい者を雇用した経験と、支援学校の就労支援に携わった経験からいろいろな障がいのある生徒を見て来ました。成功事例の何倍ものミスマッチを経験して感じたのは、家庭での自立訓練の重要性です。すべての障がいのある生徒が就労出来るとは思いません。しかし、たとえ就労は出来なくても自立できる様になって欲しいと言うのが私の願いです。少子化による労働人口の減少や企業の海外移転による税収入の減少、高齢化による社会福祉費の増加。これらの状況から、今までの様な福祉サービスが今後も持続できるかどうか、はなはだ不透明な状況です。自立に向けて今から出来ることをお話ししたいと思います。また、就労に関しての基本的な事を学んでいきます。

コンテンツ

1. 支援学校の就労支援から学んだこと（大阪府教育員会の委託事業に携わって）

- ・子供たちは親や教師が思っている以上に潜在能力がある
- ・自立する為の訓練は早ければ早いほど良い
- ・早い時期から社会参画により職業感をはぐくむ事が望ましい
- ・家庭で躾や教育が将来の自立の支えになる

2. 自立の必要性について

- ・自分たちの生活は自分たちでしか守れない
- ・精神的な自立（親離れ・子離れ）
- ・社会的な自立（学校・家庭からの自立）
- ・経済的な自立（就労または職業的自立）

但し、就労が目的ではなく、自立の為の手段と考えたい
成長と共に、家庭や学校以外の世界を体験する事例の解説

3. 自立の為の訓練

- ・家庭でも出来る自立の為の訓練事例
就労の役に立つ訓練も家庭で出来る
- ・家庭内訓練のポイント
「聞く」より「見る」手法で理解を深める
- ・得意な事と、苦手な事を認識する

- ・コミュニケーション能力を高める工夫について

4. いろいろな働き方について

- ・会社だけが働く場とは限らない
- ・仕事と生活の調和
- ・一般就労と福祉就労についての解説
- ・福祉就労のかたち

5. 企業の考え方

- ・企業における障がい者雇用の考え方
- ・就労の為に必要な条件についての解説
- ・企業が求める障がい者雇用の事例解説
- ・自己管理について

6. おまけ

- ・「働く幸せ」のビデオ上映
- ・サポート 21・ならの目指すもの

以上

「サポート 21・なら」について

「サポート 21・なら」は障がい者の就労と自立を目的に、本年 4 月にスタートしたばかりの任意団体です。

インターネット環境をお持ちの方は、「サポート 21・なら」で検索してください。

ホームページから設立の経緯や、活動状況をご覧ください。

本日お聞き頂けなかった方で、上記の詳細をお聞きになりたい方は、ある程度の人数(10 人程度以上)をまとめて頂ければ、改めてお話しをさせて頂くことも可能です。保護者会のような公式な集まりでなくとも、有志の集まりといった非公式な集まりでも結構です。特に小学部・中学部の保護者の皆様に聞いて頂きたいと思っております。奈良県内であれば、サポート 21・ならの企画事業として実施しますので、謝礼や交通費などの費用負担は一切ありません。ご希望の方はホームページのお問い合わせのページよりお問い合わせください。

サポート 21・なら

馬郡 繁

(まごおり しげる)